

フォルボ・フロアリング
ご導入事例紹介 vol.3

「天然素材を使いたい」という 想いの中で出会った床材・リノリウム

浦和つくし幼稚園（埼玉・さいたま市南区辻）

「社会につくす」という願いを込めて名付けられたつくし幼稚園は今年で創立44年を迎えます。

周辺の世帯数増加にともなう園児の増加、旧園舎の老朽化などの理由で改築計画が進められ、

2016年4月より新たに完成した園舎での教育をスタートしました。

今回は同園の事務長・秋本康宏氏に教育のポリシーと床材の選定ポイントについて伺いました。



「心身ともにたくましい子」を育てる

幼稚園はそれまで家庭の中で育てられてきたお子さんが初めて多くの仲間たちと知り合い、集団生活、社会生活を体験し学ぶ場です。

子供たちが将来自立した大人になれるかどうかは、幼児期に学んだことが大きく影響すると思っています。

当園では自立心=自分でいま何をしなければならないのかということを日常の教育の中から自然と身につけられるよう、日々の教育カリキュラムをとり入れています。

「心身ともにたくましい子を育てる」というのが当園の教育目標ですが、何事にも基礎となるのは健全かつ頑丈な身体であり、まず第一に健康な身体をつくること、そして健康な体があって「たくましい心」が育まれていくという理念のもとに環境づくりと教育に取り組んでいます。

この「たくましい心」とは、1.自分でやる（意欲と自立心）、2.工夫して考えてやる（創造力）、3.思いやりと命を大切にできるやさしさ（人間的な温かみ）、4.正確に、しかも確実にやる（思考力と実践力）、5.最後まで頑張る（気力と忍耐力）です。

これらを子供たちが当園で学ぶ年月の中で身につけて欲しいと願っています。



事務長 秋本 康宏氏

教育の場としての環境づくり

教室の壁面は授業や先生が作った掲示物などに意識が集中できるようにできるだけシンプルな色合いにしたのですが、床には色彩を持ったものにしたいという考えがありました。

幸い、フォルボ・フロアリングのリノリウムは国産品に無い独特のカラー・バリエーション、柄が豊富に揃っていたのでご覧のような教室ごとに特徴を持たせたデザインを行うことができました。

リノリウムは当園では初めての採用でしたが、今回の新園舎では写真のように思い切って斬新的な色使いと貼り分けを行いました。年少組の部屋は入園初期の幼児の気持ちをなごませる暖色系、年長組は落ち着きのある寒色系として年齢に応じた配色をしていることが特徴です。

清掃性・衛生面に優れた床材

抗菌性という面については私たちのような幼児を預かる施設としては大きなメリットだと思います。まだ新園舎が完成したばかりなので具体的な効果はわかりませんが、衛生面のリスク要因を少しでも減少させておくことはとても重要だと思います。掃除もほこり玉ができにくいので楽になりました。

従来は化学モップを使用していましたが、新園舎では掃除機で行うよう変更しました。

石油素材の床材の場合、経年劣化で収縮して隙間に汚れが溜まったり表面の汚れが落ちなくなったりすることが多かったのですが、そういう心配が少ないとても導入を決めた要因の一つです。施工担当の業者さんも切り替えし部分を隙間なくぴったりと仕上げてくれたので感謝しています。



写真奥からNo.3205・No.3238



写真左からNo.3247・No.3224



写真左からNo.3251・No.3125

写真上から年長組、年中組、年少組の教室。
曲線的な貼り分けにより視覚的にも柔らかな印象を受ける。



木目の壁面にマッチした床材を
チョイスしたエントランス。
廊下も随所に色の貼り分けを行
い変化をもたせている。

